

帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業【臼杵市】

現状と課題

- ・臼杵市での帰国・外国人児童生徒等の指導ができる支援体制づくりが不十分である。
- ・多言語化が進み、母語での指導で個々に対応するのは限界がある。いつ、どこから転入があるかわからない状況である。
- ・臼杵市教委が、人材を確保・育成し、学校の要請に応じて人材を派遣するなど、システムづくりを行うことで、当該児童生徒の実態に応じた指導体制の構築を進めていくことを目指している。

事業内容

日本語指導アドバイザー

- 日本語指導アドバイザーを招聘し、日本語指導への助言を求める。
- 派遣校を拠点し、適切な日本語指導を確立のための取り組みを行う（個別の能力に応じた「特別の教育課程」の作成、日本語指導支援員と連携した指導内容の構築 等）



連動

日本語指導者養成研修・連絡会を実施して
指導力アップ

日本語指導支援員の派遣

- 日本語指導が必要な児童生徒数に支援員を派遣し、児童生徒の能力に応じた指導を行う

事業効果

児童生徒の日本語能力アップ
指導者の日本語指導力アップ



コミュニケーションの改善

日本語指導支援員の派遣により、日本語の習得が進み、児童生徒及び教職員とのコミュニケーションが円滑に運ぶことができた

日本語教育の質の向上

日本語指導支援員の派遣により、日本語教育の質が向上し、学習者の成果も向上することができた